



「国際開発実務者のための入門研修」

(HPC Training Course “Introduction for International Development Practitioners”)

参加者の募集

本研修は、国際開発分野を志す方や、国連機関を含む国際協力分野でのキャリアを目指す方、また国際開発分野で働き始めたばかりの若手実務者を対象に、基礎知識と実践的なツールを体系的に学ぶ2日間のプログラムです。各50分・全12セッションを通じて、国際開発および国際協力アーキテクチャの理解から、状況分析、事業設計、モニタリング・評価、実施体制構築、予算管理・報告まで、開発プログラムの一連の流れを幅広く扱います。また、ジェンダー、障害包摂、トリプルネクサス、プログラムの持続可能性、PSEA（性的搾取・虐待からの保護）、AAP（説明責任）、Do No Harmといった、現在の国際開発実務において重要となる横断的課題についても取り上げます。

講師は元 UNICEF 職員であり、人道支援・開発協力分野において多様な国・地域で実務経験を有しています。本研修は、国際的なキャリアの構築に必須のプロジェクト・マネジメントの技能の基礎力を養っていくための研修コースです。国際開発の現場全般に応用可能な内容である一方、特に国連機関で用いられる方法論や実務アプローチ、国連システム全体への理解を重視。国際開発分野における重要な論点を俯瞰的に学ぶ機会を提供し、国際機関等での業務を円滑に遂行推敲していくために、大きな土台となる知識が得られます。

これから開発業界を目指す方、NGO や国連に勤め始めて間もない方々の知識や経験の整理などにも役に立つ内容となっています。講義自体は日本語で行いますが、講義資料などはすべて英語になります。国際開発に関して英語で学びたいけど、まだ自信がないという方にもいい腕ならしになります。講師の「国際開発に従事したばかりに知っておきたかった」をそのままコースにしました。ふるってご応募ください。

1. 実施期間

2026年7月4日（土）・5日（日）

両日ともに10:00~12:00、13:00~17:00

2. 実施内容

講師：徳地宜子（元 UNICEF 職員）（対面）

コーディネーター：篠田英朗（HPC 代表理事／東京外国語大学教授）（対面）



一日目	
10:00 - 10:10	オープニング
10:10 - 11:00	<p>Session 1: 国際開発と国際開発アーキテクチャー International development and international development architecture</p> <p>本セッションでは、「国際開発」とは何かを概観するとともに、主要な国際開発アクターの役割と相互関係について学びます。また、各国において開発プログラムがどのように形成・調整・実施されるのかを理解し、国連システムの基本的な調整メカニズムについても紹介します。</p>
11:10 - 12:00	<p>Session 2: 状況分析 (Situation Analysis)</p> <p>本セッションでは、国際開発における状況分析の基本的な進め方について学びます。信頼できる情報源の活用方法を紹介するとともに、分析時に考慮すべき社会・経済・政治・制度的要因について理解を深めます。また、状況分析における地域住民・関係者の参加の重要性についても扱います。</p>
13:00 - 13:50	<p>Session 3: プログラムの設計 I - 目標の設定と目標の整合性 Programme Design I - Objective setting and programme alignment</p> <p>本セッションでは、前回の状況分析および国際開発アーキテクチャーの理解を踏まえ、国際開発プログラムにおける目標設定の基本について学びます。課題分析に基づいた適切な目標の立て方を紹介するとともに、国家開発計画、SDGs、国連協力枠組み、人権アプローチや子どもの権利条約及びドナー方針などの国際的枠組みなどとの整合性について理解を深めます。</p>
14:00 - 14:50	<p>Session 4: プログラムの設計 II - 介入の設計 Programme design II - Intervention design</p> <p>本セッションでは、国際開発プログラムにおける介入設計の基本的な考え方について学びます。制度・政策環境、サービスの供給側・需要側の課題、下流 (downstream) ・上流 (upstream) レベルでの介入、社会・行動変容の視点を踏まえながら、効果的な介入をどのように組み立てるかを検討します。また、プログラム実施に伴う主要なリスクと、その緩和策の考え方についても紹介します。</p>
15:00 - 15:50	<p>Session 5: 横断的な課題 I - ジェンダー、障害およびその他の脆弱性 Cross-cutting issues I - Gender, disabilities and other vulnerabilities</p>



	<p>本セッションでは、ジェンダー、障害、年齢、貧困、移民背景など、多様な脆弱性が人々の日常生活やサービスへのアクセス、リスクへの曝露、coping strategy（対処行動）にどのような影響を与えるかについて学びます。また、複数の脆弱性が重なり合う intersectionality（交差性）の視点を理解し、国際開発プログラムにおいて多様なニーズをどのように把握し、包摂的に取り入れていくかについて考えます。</p>
16:00 - 16:50	<p>Session 6: 横断的な課題 II - トリプル・ネクサスとプログラムの持続性 Cross-cutting issues II - Triple nexus and sustainability</p> <p>本セッションでは、人道支援・開発・平和構築を一体的に捉えるトリプル・ネクサス（Humanitarian-Development-Peace Nexus）の基本的な考え方について学びます。緊急対応から中長期的なレジリエンス強化や平和構築へどのようにつなげていくかを考えるとともに、制度化、政府能力強化、コミュニティ参加、財政面など、プログラムの持続性を高めるためのさまざまなアプローチについても紹介します。</p>
16:50 - 17:00	<p>一日目のクロージング</p>
<p>二日目</p>	
10:00 - 10:10	<p>二日目のオープニング</p>
10:10 - 11:00	<p>Session 7: 横断的な課題 III - PSEA, AAP と Do No Harm Cross-cutting issues III - PSEA, AAP, and Do No Harm</p> <p>本セッションでは、国際開発・人道支援における重要な原則である PSEA（Protection from Sexual Exploitation and Abuse、性的搾取・虐待からの保護）、AAP（Accountability to Affected Populations、影響を受ける人々へに対する責任）、Do No Harm について学びます。支援活動が人々に与える影響や権力関係を理解し、被害や排除を防ぎながら、安全かつ責任のあるプログラム運営をどのように実践するかについて考えます。</p>
11:10 - 12:00	<p>Session 8: プログラムの設計 III - モニタリングと評価 Programme design III - Monitoring and Evaluation</p> <p>本セッションでは、国際開発プログラムにおけるモニタリングと評価の基本について学びます。インディケータ種類やどのように設定し、データ収集・分析、進捗管理を行っているのかを理解するとともに、学びへの活用な</p>



	<p>ど、M&E が果たす役割について紹介します。人道支援における M&E に関しても触れる予定です。</p>
13:00 - 13:50	<p>Session 9: プログラムの実施 I - 実施体制とパートナー・エンゲージメント Programme implementation I - Implementation structure and partner engagement</p> <p>本セッションでは、国際開発プログラムを効果的に実施するための実施体制の構築と連携について学びます。それぞれの役割や責任、調整メカニズムを理解するとともに、信頼関係の構築や効果的なパートナー・エンゲージメントの実践方法について考えます。また、得られた知見を組織内外で活用・共有する Knowledge Management (KM) の重要性や事業の成果や変化を測る評価手法、Impact Evaluation (インパクト評価) についても触れます。</p>
14:00 - 14:50	<p>Session 10: プログラムの実施 II - 予算管理、報告とビジビリティ Programme implementation II - Budget management, reporting and visibility</p> <p>本セッションでは、国際開発プログラム実施における予算管理、ドナー報告、ビジビリティ (広報・可視化) の基本について学びます。限られた資源を適切に管理しながら、成果や課題をどのように報告・発信するかを理解します。</p>
15:00 - 15:50	<p>Session 11: 国際開発におけるキャリアとキャリア構築 Career and career building in international development</p> <p>本セッションでは、国際開発分野における多様なキャリアパスについて概観するとともに、国連機関、NGO などの国際開発業界で求められるスキルや経験について学びます。また、キャリア初期にどのように経験を積み、専門性やネットワークを構築していくかについても紹介します。</p>
16:00 - 16:50	<p>Session 12: 総括 (Overall Review)</p> <p>本セッションでは、これまでの 11 セッションを振り返りながら、国際開発実務における主要な概念・手法・横断的課題について総括します。また、研修中に挙げた質問や議論事項を整理した「Parking Lot」を用いて追加の質疑応答を行い、理解を深める機会とします。</p>
16:50 - 17:00	<p>クロージング</p>



3. 実施形式

英語の資料などを用いながら日本語で、対面式で、実施します。講師やコーディネーター、またその他参加者との交流の面からも対面の受講をおすすめしますが、海外勤務中などの方のために、オンライン参加希望者も受け付けます（ライブ参加できない場合には録画視聴可能）。会場は東京都渋谷区の研修施設を使用する予定にしています。

4. 参加費 3万円（オンライン参加2万円）

5. 応募資格 特に要件はありませんが、国際開発や国際開発プロジェクト管理に関心をお持ちの方を対象にしています。資料は英語になります。

6. 募集人数 対面では20名程度以内

7. 応募書類 履歴（様式任意）

8. 応募方法

応募書類を添付の上、原則として電子メールで下記の宛先にご連絡ください。

hpcapplication@peacebuilders.jp

9. 応募期間 随時合格者を決めて連絡していきます。

10. 補足説明



講師は、UNICEF、UNOCHA、UNHCR など複数の国連機関や国際機関において、アフリカ、中東、アジア地域での開発・人道支援に従事してきました。プライベート・セクター、ソーシャル・スタートアップでの経験も持ちます。特にトリプル・ネクサス（Humanitarian-Development-Peace Nexus）に関心を抱き、社会的包摂、社会保護、社会政策及び公共財政などを専門としてきました。現場経験と国連システムへの理解を活かし、本研修で

は国際開発の実務に直結する視点や方法論を実践的に紹介します。国際関係とMBAのダブル修士。

【お問い合わせ】 一般社団法人 広島平和構築人材育成センター（HPC）

Email : hpc@peacebuilders.jp

（その他情報）



Website : <https://peacebuilderscenter.jp>

X (旧 Twitter) : https://x.com/HPC_PR

Facebook : <https://www.facebook.com/peacebuilderscenter>

Instagram : https://www.instagram.com/hpc_pr/?hl=ja